

製造工程の一部内製化で、伝統産業を守る

ぎよくさんどう
玉算堂工業 株式会社／奥出雲町商工会
 ■業種 そろばん製造販売
 ■住所 島根県仁多郡奥出雲町横田1097
 ■電話番号 (0854) 52-2311
 ■営業時間 8:00～17:00
 ■定休日 土曜日、日曜日、祝日
 ■ホームページ 「玉算堂工業」で検索

<http://mypage.okuizumo.ne.jp/my/soromat>



私は

『 **事業承継新事業活動等支援補助金** 』
 を活用しました！

「良質な鉄が作れるところに、そろばん産業は根付く」。硬く、重たく、粘りがある木を精巧に削るための刃物があるからです。そろばんの産地として有名な奥出雲町横田には、玉鋼を作る伝統的技術“たたら製鉄”が今もなお大切に受け継がれています。そして、“玉算堂工業”は1888年の創業以来、この地でそろばん産業を脈々と守ってこられました。そろばん一筋、4代目社長の松浦正敏さんにお話を伺いました！

取り組みのきっかけはなんですか？

1570年に長崎に伝わったそろばん。長い歴史の中で、雲州（横田）と播州（兵庫県小野市）が二大産地となり、互いに協力しながら技術や知識を磨いてきました。その過程で“珠削り”は播州そろばんに託すようになりましたが、時流に沿い、一部内製化を図ろうと機械導入を行いました。

商工会からどのような支援を受けられましたか？

青年部・女性部事業への参加や記帳代行支援の活用など、商工会とは長年の付き合いで気兼ねなく相談できる間柄です。今回も考えていることを話したら、とんとん拍子に良い方法が見つかりました。申請手続きは難しく1人ではできませんでしたが、全面バックアップでとても助かりました。

取り組みの成果・効果を教えてください！

雲州そろばんの製造工程数は「187工程」といわれ、道具も同じくらいの数が必要です。そして、この工程のほとんどが職人の手作業によるものです。量産が必要だった時代は全工程を自社で担うことは難しかったのですが、一部内製化を図ることで、業務の効率化、品質向上、技術向上、利益率向上などに繋げる計画です。新型コロナウイルス感染症の影響で当社も大打撃を受けていますが、「清く、正しく、美しく。声なきして物を売れ。」との代々の教えを胸に、“質の雲州そろばん”を守り継ぎたいと思います。

代表取締役 松浦正敏さん

多田納指導員には、当地域のことにご理解をいただき、困った時の神頼み、速やかな対応、支援に感謝しております。今回の補助事業を紹介いただき、申請から報告までスムーズに出来ました。今後とも宜しくお願いします。



多田納元気（経営指導員）

松浦社長は、奥出雲が誇る伝統的工芸品である雲州算盤を製作しておられます。今回、バンドソーの導入により、ツゲ玉の原木材を輪切りにする工程の内製化が可能となりました。様々な取り組みを精力的に行っておられますので、少しでもお役に立てるよう今後も継続して支援を行ってまいります！！